

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

- 1 物語文で、登場人物の気持ちを読み取る4つの手がかりを答えましょう。

答え

- 2 物語文で、まず整理するとよい「場面」の4つの要素を答えましょう。

答え

- 3 景色や天気などの様子をえがいた文を何とといいますか。

答え

- 4 気持ちの変化をとらえるときに整理する3つのことを答えましょう。

答え

- 5 「窓の外では、冷たい雨が降り続いていた」という情景描写は、どのような気持ちを表していることが多いですか。

答え

- 6 気持ちを答える記述問題の文末の型を答えましょう。

答え

- 7 選択肢に「とても」「完全に」など本文より強い表現があるとき、どんなまちがいが考えられますか。

答え

- 8 気持ちを答えるときの根拠は、どこから探しますか。

答え

- 9 「下を向いていた」人物が「顔を上げた」とき、気持ちはどう変わったと考えられますか。

答え

- 10 場面が変わるのは、主にどのようなときですか。

答え

- 1 答え：行動・表情（しぐさ）・会話・情景描写
- 2 答え：いつ・どこで・だれが・何が起きたか
- 3 答え：情景描写
- 4 答え：前の気持ち・きっかけ・後の気持ち
- 5 答え：悲しい・沈んだ気持ち
- 6 答え：～（から）、～という気持ち。
- 7 答え：言いすぎ
- 8 答え：本文の言葉（行動や様子）
- 9 答え：前向きになった（気持ちが軽くなった）
- 10 答え：時間・場所・登場人物が変わるとき

要点まとめ

- ・ 物語文は「いつ・どこで・だれが・何が起きたか」を先に整理します。
- ・ 気持ちは「書かれた行動や様子」から読み取ります。自分の想像ではなく、本文の言葉を根拠にします。
- ・ 気持ちの変化は「前・きっかけ・後」の3点セット。行動の変化（下を向く→顔を上げる）が、気持ちの変化を表します。

解法ポイント

- ・ 気持ちは本文の行動・様子から読み取る。
- ・ 変化は「前・きっかけ・後」で整理する。
- ・ 記述は「～から、～という気持ち」。